

ことばの力

米子市立加茂中学校 1年 安藤 優名



面と向かって同じことが言えますか。

公園・病院の待ち合い室・車内・飲食店、至る所でスマホを見ている人を見かけます。わからないことや、調べたいことがあればスマホ一つで即、解決することだってあります。便利になった分、今社会問題化している「SNSの誹謗中傷」、私たち子どもも大人も、真剣に考えなければいけない身近に感じる問題です。誹謗中傷とは、事実ではないことや悪口を言いふらしたり、書き込んだりして相手を傷つけることです。

私も母のタブレットを使いユーチューブを見たり、グーグルを利用することもあります。そんな中で、発信者へ対してのコメントや、意見の内容を見ると、中には心が痛くなるような酷い言葉を平気で書いている人もいます。名前も顔も分からないから、軽い気持ちで相手の気持ちを無視して言いたい放題の人もいます。何気ない一言が相手を追い込み深く傷つけ、苦しませていることも知らずに…。ネットは感情ある人間同士がしています。ロボットではありません。ストレスのはげ口の場のようにも思えます。

最近では、コロナウイルスに感染した人たちにネット掲示板に住所や職場、学校など個人情報特定し、みんなの目にさらされ、批判され苦しんでいる人がいるということをテレビで知りました。誹謗中傷をなくしましょう。と言いますが、どうすればなくなるかを一人一人が考えなければいけないし、完全になくなるのは、ネットがある以上、絶対無理だと思います。何か書き込みをしたい時は、匿名ではなく本名でないと書き込みができないとかにすればいいのではないかと思います。正直、考えてもよくわかりません。難しい問題です。

そもそも話し言葉と同じつもりで書き込んでいることが多いので、話し言葉より、書き言葉の方がきつく感じることに、他人を傷つける可能性が高いという意識を持たなければいけないと思います。文章で相手に伝えることの難しさ。そういうつもりではない。ということも、受け止め方一つで、心に大きな傷を負うことだってあります。心に負った深い傷は消えることなどなく残り続けるのです。でも絶対に一人で抱えず、誰かに必ず相談して欲しいです。

私も小学生の頃、嫌だなと思うことを言われたことがあります。そんな時、そばにいた友達がかばってくれて、優しい言葉をかけてくれてすごく嬉しかったことがあります。助けてくれる人は必ずいます。だから相談することは必要なことだと思います。言葉はその一言で、「救われる力」「がんばろう！と励まされる力」「笑う力」、反面、「不快にさせる力」「怒らせたり、悲しませる力」、

言葉には人の感情を動かす力がたくさんあります。言葉一つで良くも悪くもなるのです。生きていれば、楽しく笑っているときばかりではなく、時には腹が立つこともあります。イライラすることもあります。だからといって他人を傷つけることは絶対に許されるものではありません。傷ついた心は、時間が解決したり、忘れることはできないのです。

私はまだ13歳。これからどんな未来が待っているのか、どんな大人になれるのか、楽しみと不安はありますが、困っている人がいたら助けてあげられる人、人の悪いところばかりを見るのではなく、良いところをたくさん見つけられるような人になりたいです。そうすれば自然と自分自身も幸せな気持ちになると思います。直接は言えないけど、ラインなら言えることはありませんか。本音を伝える事で、良かったと思えることもあれば、本音ではないけど、今の感情をつい出してしまうこともあると思います。ネット社会は、何が真実かもわからず、表面だけの情報や噂だけで判断し、傷つけ合っています。言葉一つで、生活を変えることだってできます。命をうばうことだってできます。

私が思うことは、相手と向き合い、正しい言葉を正しく伝える。自分が言われて嫌な言葉を他人に言わない。面と向かって話せる人、身近にいる人には、自分の言葉で話す。そして一番大事なことは、一人一人が常に優しい気持ちでいることと、他人を、友達を、家族を、自分自身を大事にすることだと思います。

一人でも多くの人に笑顔の花が咲きますように。